

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第2回行田市男女共同参画推進審議会	
開 催 日 時	平成30年10月22日（月） 開会；午後2時・閉会；午後3時30分	
開 催 場 所	行田市役所 306会議室	
出席者（委員） 氏 名	田代美江子委員（会長）、山崎孝子委員（副会長）、茂木美智代委員、山岸泰輔委員、金井さち子委員、今村宗雄委員、西山カツ枝委員、大谷春彦委員、梅田伸一郎委員、大野久美子委員、斎藤光子委員、蓮沼義典防災安全課長、黒澤典弘都市計画課主幹、横倉喜和企画政策課主査（名簿順、敬称略）	
欠席者（委員） 氏 名	井上文子委員、岡部将弘委員、高鳥和子委員、加藤修一委員、	
事 務 局	堀口修司（所長）、芹澤勝己（主査）	
会 議 内 容	（1）平成29年度男女共同参画推進プラン実績に対する各課ヒアリングについて （2）行田市男女共同参画推進事業所表彰について	
会 議 資 料	・H29年度プラン実績：各課へヒアリング ・施策個別評価表と返信用封筒 ・平成28年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見 ・行田市男女共同参画推進事業所表彰関係資料 ・ぎょうだ男女共同参画フォーラム2018 ちらし ・ぎょうだ男女共同参画フォーラム2018 概要	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者なし	
会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名 押 印
	平成30年11月7日	田代美江子 

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	・ 開会 ・ 挨拶（田代会長） ・ 欠席者の報告 ・ 配布資料の確認 ・ 議長の選出（田代会長）
事務局	・ 本日の会議は委員の過半数が出席しており会議は成立している。 ・ 本日の会議において非公開とする事項はなく、会議の傍聴希望者もない。
議長 （田代委員）	・ 次第に基づき議事を進行する。 ・ 議事の（１）平成２９年度男女共同参画推進プラン実績に対する各課ヒアリングについて、事務局より説明を求める。
事務局	（会議資料、「平成２９年度プラン実績：各課へヒアリング」の説明）
議長	・ 事務局から説明があったが、只今から担当各課へのヒアリングを行う。 ・ 最初に企画政策課のヒアリングをお願いする。
企画政策課主 査	・ 市民意識調査やヒアリング調査は毎年行うものではなく、大きな計画を策定、改定、廃止するときに各課にてパブリックコメントの募集として実施することになっている。平成 29 年度は企画政策課としてはそういった案件がなかったため、実績は記入しなかった。ただ全庁的には計画の策定や改定にあわせて適切にパブリックコメントの募集を実施した。昨年度は 3 件の計画策定、1 件の計画の改定に併せてそれぞれも該当する課で調査を行っている。ただ、企画政策課としては調査を実施しなかったためこのような回答になった。企画政策課としては調査を実施しなかったが、全庁的には適切に調査を行っていたため評価を A とした。また、広報公聴課でおおむね 4 年に一度、市民の

山崎副会長 企画政策課主 査	中から無作為抽出で大規模の調査を行っている。ほかには、市長、部長、広報公聴課職員が出席して市政懇談会を年 15 回程度実施し、市民からご意見をいただいている。 ・平成 29 年度に調査を行った計画はなにか。 ・一般廃棄物ごみ処理基本計画を環境課、障がい者計画を福祉課、第 7 期行田市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画を高齢者福祉課、都市計画マスタープランを都市計画課、以上 4 件でパブリックコメントを募集した。
山崎副会長 企画政策課主 査	・マスタープランなどについて、どのように周知しているのか。市報か。 ・計画によってさまざま。市報の場合もある。策定するときに策定委員会とは別に市民会議を設けている場合も多い。そういった場を利用して、進捗状況や結果をお知らせしている。
山崎副会長 企画政策課主 査	・それでは、すべての市民というわけにはいかないが。 ・案件によってホームページでもお知らせしている。企画政策課ではパブリックコメントなどについての大本の要綱を所管している。そういった立場から要綱の適切な運用に努めるように毎年各課に周知している。
議長	・企画政策課がパブリックコメントなどについての大本の要綱を統括され、市民意向の反映の役割を担うにもかかわらず自己評価のところで未実施とかかれるのはどうなのか。他の課と連絡が取れているのであれば「予定なし」とするのではなくて、各課がこうやっていてこういう結果だと書くことは無理なのか。
企画政策課主 査	・個別のケースについては下の欄で各課が回答していると考えていた。統括している課として取りまとめることは可能なので、来年度から全庁的に何件ですと回答することはできる。この欄に各課を設定してしまうと、年度によって実施するかどうかは変わってくるため、あまり効率はよくないのかなという印象はある。今後は、企画政策課のほうで取りまとめて、合計で何件ですと回答していきたい。

梅田委員	・ A という評価を書いたときに、4 件の内容も書いてもらえればよかった。
今村委員	・ 予定なしではなくて各課でこういう案件があると企画政策課で把握して回答してほしい。もう一点、企画政策課で市民意識調査を行う予定はあるのか。
企画政策課主 査 議長	・ 市民意識調査は広報広聴課で行っている。4 年に一度行っており、次回は平成 31 年度に行う。
防災安全課長	・ 続いて防災安全課のヒアリングをお願いする。
	・ 回答が空欄となった理由は平成 29 年度にパブリックコメントを募集する計画の策定や変更等がなかったためである。平成 24 年度は行田市地域防災計画の改定、平成 26 年度は行田市自転車安全利用促進条例制定に伴い、パブリックコメントを募集し広く市民意向を徴収した。今後も政策決定にあたっては市民意向の反映に努めていく。
山崎副会長	・ 前回の調査から 4 年のブランクがある。それから状況も変わっている。2 年ごとに調査してはどうか。
防災安全課長	・ 調査は原則、計画の策定、改定、廃止のときに行うものと行田市市民意見募集手続要綱で規定されているため、2 年ごとにはやっていない。
議長	・ 市民の意向はどのように汲み取っているのか。
防災安全課長	・ 出前講座のアンケートなどで市民の意向を吸い上げて政策に反映している。
議長	・ それを自己評価に書いてほしい。防災は重要であるので、どのように市民の意向を吸い上げているのかヒアリングさせていただいた。この欄に防災安全課があることに疑問があるのか。
防災安全課長	・ それはない。しかし、なぜ 3 課だけこの欄があるのかは疑問に思う。他の課とっても市民の意向の把握は重要だ。今回は質問の意図がわかりにくかったためパブリックコメント限定で答えた。
今村委員	・ 最近、豪雨や地震による災害があった。行田市は利根川と荒川

	に囲まれている。災害に備えた意識調査はどのように行っているのか。
防災安全課長	・地域リーダーの研修会で意識調査と兼ねてアンケートを行っている。全市民対象の調査はできていないが市民意向調査の項目に入れてもらうことで対応していきたい。
議長	・3. 11以降、防災には女性に関していろいろと男女共同参画上の課題がある。市民の意向をどのように把握されているのか。
防災安全課長	・現在、防災時の女性への取り組みについて市民の意向は把握できていない。最近、東京では女性に特化したマニュアルができている。これを参考にして行田市でもガイドブック、マップに女性の意見を入れていきたい。
議長	・続いて都市計画課のヒアリングをお願いします。
都市計画課主幹	・平成29年度に計画の策定を予定していたが、パブリックコメントの募集期間が4月になったためこのような回答となった。
今村委員	・どのような計画か。企画政策課が言っていたが都市計画マスタープランか。
都市計画課主幹	・はい。平成30年3月22日から4月23日にパブリックコメントを募集した。
議長	・ずれ込んだがやることが決まっていたのならばそのことを書いて欲しかった。わたしたちは評価をしなければならないがこの書き方では評価できない。
今村委員	・予定なしだと何もしていないのだと思ってしまう。
議長	・意見は何件あったのか。
都市計画課主幹	・意見はなかった。
議長	・なかった理由はなぜとお考えか。
都市計画課主幹	・一部の改定のためと考える。全面的な改定だと意見が出てくると思う。
山崎副会長	・一部改定の中身を教えてほしい。
都市計画課主幹	・若小玉で産業団地を整備するための改定である。

幹 今村委員 議長	・産業団地では市民にはわかりにくい。 ・パブリックコメント以外で都市計画にかかわる市民の意見をどのように吸い取るのか。
都市計画課主 幹 議長	・大きな計画変更ではアンケートとパブリックコメントの募集を行う。それをもとに市民の意見を反映させていく。 ・今回、市民調査はしているのか。
都市計画課主 幹 議長	・一部なのでやっていない。大本を変えるときには調査を行う。
都市計画課主 幹 議長	・関連する地域の市民の意見はどのように調査しているのか。 ・部分的な開発については所管課が事前に説明会で意見を聞く。
今村委員 議長	・パブリックコメントの募集だけではなくそういった取り組みが重要だと思う。 ・今回パブリックコメントがなかったのは工業団地だったため市民の感心がなかったのだと思う。宅地だと違う。 ・以上でヒアリングを終了する。施策個別評価表には全体の課題も意識して批判だけでなく評価ができる点も積極的に書いてほしい。
梅田委員 議長	・スポーツ振興課は委員会の女性率が低く、その理由として各団体から選出してもらうためとなっているが、これではずっと低いままになってしまう。 ・選出団体がこうだから仕方がないという回答が多い。女性の委員を選出してもらうよう積極的に選出団体へ働きかけをしてくださいと書いたらいいと思う。
梅田委員 議長	・スポーツ系の委員は男性のほうが多い。 ・防災安全課に女性の委員がいなかったのはありえないと書いたら女性の委員が増えた。
山崎副会長	・農業委員会は女性が少ない。農業に携わっている女性はたくさんいるのに。もっと女性に出てほしい。

議長	・現場には女性がいるのになぜ女性委員が少ないのかと書けばいい。具体的にコメントしてほしい。
今村委員	・いつまでに回答すればいいのか。
事務局	・11月2日までをお願いしたい。
金井委員	・平成29年度分の報告書の評価を次回でまとめるのか。
議長	・そういうことになる。
金井委員	・そうすると評価が反映されるのは平成31年度からになってしまう。
議長	・反映されるのに時間がかかる。検討結果を早く出すことも検討しないとイケない。点数を出すことも検討する。
西山委員	・特に評価したいことがない欄はどうしたらいいのか。
議長	・他市では今年は重点項目の1, 2を、次の年は重点項目の3, 4を検討するということもある。本来なら私たちが全部を評価しないとイケない。しかし、それでは大変なことになる。前々年度から本文だけでなくコメントをつけるようにした。質問票に書いたことの繰り返しでもかまわない。ヒアリングはしなかったが、これでいいのかということを書いてほしい。各課も自分の課の名前があれば絶対に見ると思う。
西山委員	・評価がAかCの場合にコメントして欲しいとのことだがBの場合はどうするのか。
議長	・AかCに限らずBでもコメントしてもらっていい。あまり気にせずに書いてほしい。
梅田委員	・意見が多く出たら事務局でまとめるのか。
事務局	・はい。
梅田委員	・コメントしても改善してくれない。ヒアリングで説明を聞くと理由がわかるのだが。
議長	・去年と同じ数字を書いてくる課もある。
今村委員	・職員の異動があるからそうなる。
議長	・誰が回答しているのか聴きたい。各課、忙しい中で回答してくれている。

事務局	・次に、(2) 行田市男女共同参画推進事業所表彰について、事務局より説明を求める。
議長	(行田市男女共同参画推進事業所表彰関係資料に基づき説明)
事務局	・井上委員も一緒にヒアリングに行ったが意見は控えさせていた だきたいとのことだった。
議長	・ヒアリングの内容をお願いする。
事務局	・株式会社テスココンボは正社員が少なくパートの女性が多い。 パートの女性は扶養の範囲で働くので、勤務時間をやりくりする のが大変である。
議長	時間外が長いと家事育児が大変なため削減の方向で進めている が時間外を減らすのは難しい。
事務局	パートの時給があがっているので働ける時間が減っている。や り方を改革しながらやっている。
議長	60歳定年だが65歳まで嘱託かパートで働ける。基本は70 歳まで働くことができ、パートは72歳まで働ける。年をとっ ても元気に働ける職場である。
梅田委員	・女性に話は聴いたのか。
事務局	・事務室に女性はいたが皆さん忙しそうに働いていたので聴くこ とができなかった。話は担当の男性から個室で聴いた。
議長	・ヒアリングをしてよかった。次回は女性にも聴いてほしい。
山崎副会長	・何をしている業者なのか。
議長	・もともとは運送業をやっていた。最近は梱包をして送り届ける 仕事をしている。運送だけをしているのではない。
議長	・楽器など特殊なものの梱包をしている
議長	・美術品もしている。
議長	・株式会社テスココンボを行田市男女共同参画推進事業所として 表彰する件について委員の皆様の意見はいかがか。
全委員	・承認する。

議長 事務局	・次に、４その他 について、事務局から何かあるか。 ・第３回審議会の日程調整をお願いしたい。 １２月２６，２７日の午後で日程を調整。 後日改めて開催通知を送付する。 ・１２月１６日（日）に商工センターホールで「ぎょうだ男女共同参画フォーラム２０１８」を開催する。今回は大きな会場で開催するので委員の皆様のご協力をお願いしたい。
議長	・以上で議事はすべて終了した。これをもって議長の任を解かせていただく。
事務局 山崎委員	・閉会の言葉を山崎副会長にお願いする。 (閉会の言葉)